

平成25年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）
研究進捗評価 現地調査報告書

研究課題名	政権交代期における政治意識の全国的時系列的調査研究
研究代表者名 (所属・職)	小林 良彰（慶應義塾大学・法学部・教授）

【評価コメント】

本研究は、継続して行われてきた選挙研究であるJESのV部として、「政権交代期における政治意識の全国的時系列的調査研究」を行うものである。本研究は、すでに2012年の衆議院議員選挙を対象として、全国調査を試み（郵送調査、電話調査、インターネット調査）、データベース化を進め、国内外に発信を進めている。また、2013年参議院議員選挙の調査（インターネット、電話調査、郵送調査）が進行中である。その意味では、当初の目的である政治の基本的なデータベース構築と日本政治（日本の選挙）についての基本情報の提供は十分進んでいるといえる。

また、本研究では、従来の外形的な比較からもう一步進めて、実態を把握するための手法を開発しようと、いくつかの仮説を提出している。それらの仮説を更に検証して、高い水準の理論構築を目指すことを期待する。また、選挙制度以外の要素も考慮することで、研究の妥当性が増すと思われる。